

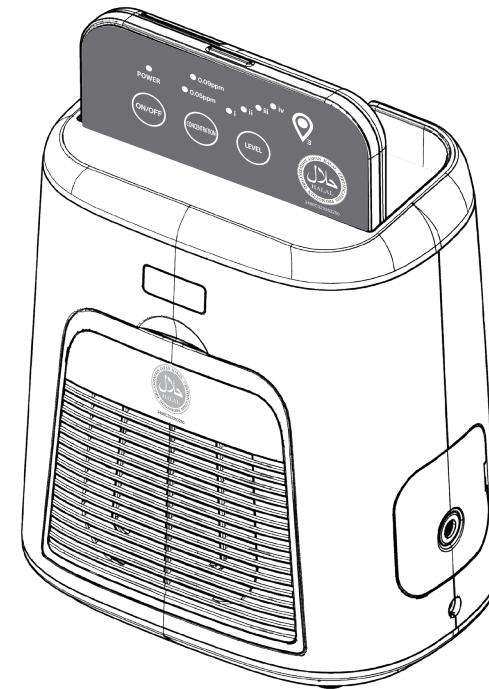


小型オゾン除菌・消臭器

DeAlot

TM-2.0C

取扱説明書



【お問い合わせ先】

製造元 **株式会社 Deport** TEL：052-753-3380

住所 愛知県名古屋市名東区上社1丁目407番地

受付時間 10：00～17：00 ※土曜・日曜・祝日・夏季・年末年始休業日を除く

製造元 株式会社 Deport

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をよく読んで機器を正しくご使用ください。
この取扱説明書はいつでもご覧になれるところに大切に保存してください。

もくじ

はじめに	2
・機器の特徴	2
・オゾンとは	2
・取扱説明書の表記について	2
各部の名称とはたらき	3～4
・本体	3
・操作パネル	4
・付属品	4
安全にお使いいただくために	5～8
・使用についての注意事項	5
・電源についての注意事項	7
・設置上の注意事項	8
本体の設置 / 準備	9
・置き設置	9
・壁掛け設置	9
使いかた	10～13
・基本操作	10
・濃度設定	11
・濃度設定の解除	11
・パネルロック	12
・レベル設定	12
・近接センサー	13
・運転灯	13
お手入れ	14～18
・吹出口と吸気フィルター	14
・発生体	15
・発生体取付台	16
・オゾン濃度センサー	16
・お手入れ目安表	17
故障かな？と思ったときは	19～20
製品仕様	21
アフターサービスと廃棄	22
・保証書	22
・保証期間	22
・廃棄	22

はじめに

【機器の特徴】

本製品は低濃度のオゾンガスを生成させる機器です。

空気中に含まれる酸素を原料に除菌や消臭をすることができます。除菌や消臭といった反応後には、無害な酸素へと戻るため残留物がありません。

【オゾンとは】

オゾンは、3個の酸素原子(O)からなる気体分子(O₃)です。自然界でのオゾン濃度は0.01～0.03ppmと少量ですが、常に我々のそばにあり、特異な物質ではありません。

一般的に知られているオゾン層は、上空20～50kmの成層圏中に存在し、有害な紫外線から私たちの暮らしを守っています。

オゾンはフッ素に次ぐ強い酸化力を持ち、人体に影響のない低濃度であってもウイルスや菌の除菌、さらには臭気物質に作用し消臭にも効果があります。また、反応後は酸素(O₂)に戻るため、人にも環境にもやさしい物質となります。

本製品は、これらの特性を持つオゾンを最良の濃度で生成し、除菌や消臭を行います。

【取扱説明書の表記について】

本書には製品を正しくお使いいただき、人体への危険や、財産への損害を未然に防止するための表示を記載しています。表示の記号と意味は以下の通りです。

危険のレベル



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注記

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示します。

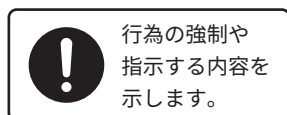
シンボル（絵表示）の意味



禁止行為を示します。



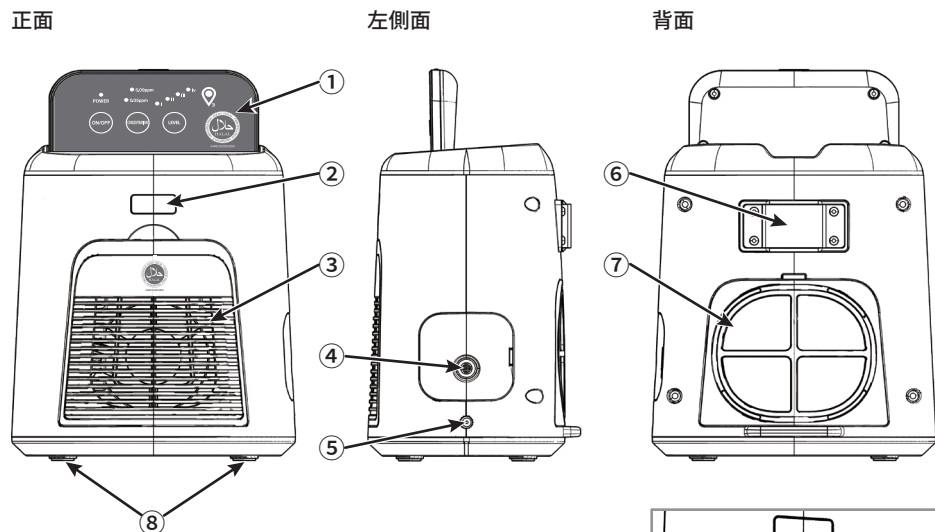
注意や警告を促す内容を示します。



行為の強制や指示する内容を示します。

各部の名称とはたらき

【本体】

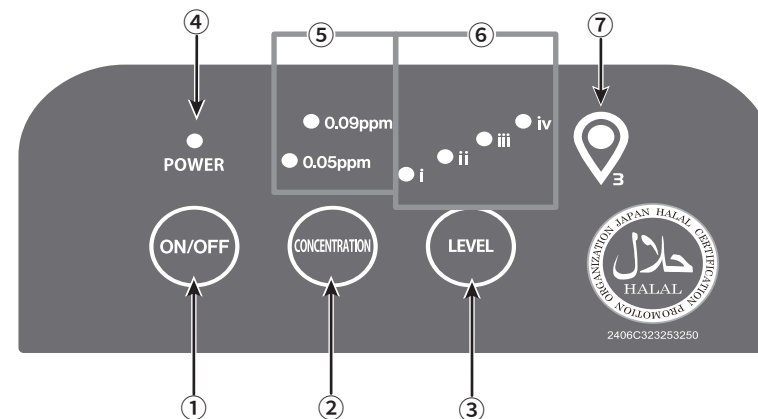


- ① 操作パネル
運転操作を行います。
- ② 近接センサー
遮蔽物を感知します。
- ③ 吹出口
オゾンガスが放出されます。
- ④ オゾン濃度センサー
室内のオゾン濃度を測定します。
- ⑤ AC アダプタ差込口
AC アダプタを接続します。
- ⑥ 取付板
壁に設置する場合に使用する金具です。
- ⑦ 吸気フィルター
空気の吸い込み口です。
- ⑧ ゴム足

- ⑨ 清掃ブラシ
発生体清掃用ブラシです。
- ⑩ 発生体
オゾンを生じさせます。
- ⑪ 送風ファン
背面から吸気し、前面から吹出します。

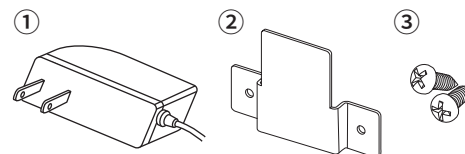
▼前面の吹出口を取り外した状態

【操作パネル】



- ① 「ON/OFF」 ボタン
本体の電源がオン・オフします。
- ② 「濃度」 ボタン
押すと、濃度上限設定が切り替わります。
約 5 秒の長押しで、パネルロックのオン・オフをします。
8 秒以上の長押しで、濃度上限設定を解除します。
- ③ 「レベル」 ボタン
オゾン発生レベルが切り替わります。
レベルは押すごとに 1、2、3、4 と切り替わります。
- ④ 電源灯
通電中、ランプが点灯します。
- ⑤ 濃度設定表示
オゾン濃度の上限設定値のランプが点灯します。
濃度上限設定解除中は、0.05ppm と 0.09ppm 両方のランプが点灯します。
- ⑥ オゾン発生レベル表示
オゾン発生のレベル設定値のランプが点灯します。
- ⑦ 運転灯
運転中の状態をランプ各色で示します。

【付属品】



- ① 専用 AC アダプタ
- ② 壁取付板
壁に設置する際、壁側に取り付けます。
- ③ 木ネジ (×2)
壁取付板を壁に固定する際に使用します。

安全にお使いいただくために

本製品を誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を説明するものです。
安全にお使いいただくために、以下の事項を必ずお守りください。

【使用についての注意事項】

警告

本体に水をかけたり、水洗いしたりしない  故障や漏電の原因となります。	湿気や粉塵の多い場所で使用しない  火災や感電の原因となります。
本製品の分解、また修理や改造をしない  火災や感電の原因となります。	次のようなものを本体にかけない ●可燃性のガス ●引火性のガス ●爆発性のガス ●洗剤 ●アルコール等 火災や故障の原因となります。
吸気口や吹出口をふさがない  吸気と吹出ができず、火災や故障の原因となります。	
本製品の上に物を置かない  落下した場合に、吸気口や吹出口をふさいで火災や故障の原因となります。	都市ガスやLPガスなどのガス漏れが発生した場合、電源を切る  火災や故障の原因となります。

注意

運転したまま持ち運ばない  落下や転倒し、けがや故障の原因となります。	落下や転倒させたり、衝撃を与えたりしない  破損し、けがや故障の原因となります。
オゾン発生中、吹出口に口や鼻を近づけない  体調を損なう恐れがあります。 	使用中に強い刺激臭を感じた場合は、直ちに電源をオフにする  使用を続けると、体調を損なう恐れがあります。使用を停止し、換気をしてください。 
吹出口や吸気フィルターを外したまま運転しない  送風ファンの羽が露出し、触れるとけがや故障の原因となります。	お手入れの際は、必ず本体の電源をオフにする  感電の原因となります。

注記

ぬれた手で操作しない  誤作動の原因となります。	テレビやディスプレイなどの近くで使用するとノイズが生じる場合があります  ノイズが発生した場合は、設置場所を移動してください。
お手入れの際、次のようなものを使用しない ●シンナー ●ベンジン ●ガソリン 変形や変色やひび割れの原因となります。 	吸気フィルターや吹出口はこまめに清掃する  ほこりがたまると吸気と吹出に支障をきたし、故障や性能の低下の恐れがあります。

【電源についての注意事項】

警告

定格電圧以外の電源は接続しないでください



発火による火災や、故障の原因となります。

ACアダプタとコードを、下記の方法で扱わない



- 傷をつける
- 加工をする
- 引っ張る
- 無理に曲げる
- 重いものをのせる
- 熱機器に近づける
- 強く束ねる
- 結ぶ

破損した電源コードを使用すると、火災や感電の原因となります。

ACアダプタのほこりなどは定期的に取り除く



たまったほこりが原因で、火災が起こる恐れがあります。

ACアダプタを抜くときに、コードを引っ張らない



断線し、火災や感電の原因となります。

コードを釘やピンなどで固定しない



破損し、火災や感電の原因となります。

ぬれた手でACアダプタの抜き差しをしない

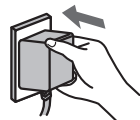


感電や傷害の原因となります。

ACアダプタは根元まで確実に差し込む



発火による火災や、感電の原因となります。



注意

付属品以外のACアダプタを使用しない



発火や故障の原因となります。

【設置上の注意事項】

警告

小さなお子様の手に触れるところに設置しない



事故やけがの原因となります。

注意

次のような場所に設置しない



- 火気を取り扱う場所の付近
- 40℃以上の高温になる場所
- 直射日光が当たる場所
- 油が付着する場所
- ほこりが多い場所
- 雨風にさらされる場所
- 凍結の恐れがある場所
- 振動する不安定な場所
- 傾斜のある場所

火災や故障の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない



たこ足配線などで定格を超えると、発熱し火災を起こす恐れがあります。



不安定な場所に設置しない



落下や転倒により、けがや故障の原因となります。

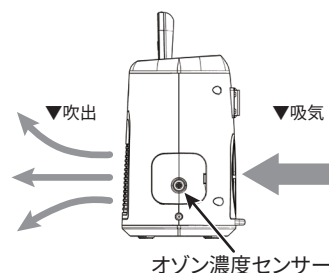
本体の設置 / 準備

【置き設置】

水平で安定した場所に設置してください。

背面の吸気フィルターから吸気し、前面の吹出口からオゾンガスを放出します。オゾンの拡散や吸気を妨げる遮蔽物などが無い場所に設置してください。

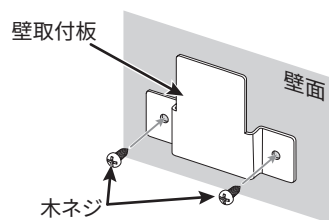
オゾン濃度センサーがふさがれると、オゾン濃度が正しく測定できないためオゾンの発生量が増加する場合があります。



【壁掛け設置】

1. 壁に壁取付板を取り付ける

付属の壁取付板を、木ネジで取り付ける壁に固定します。十分に強度のある場所に壁を選定してください。

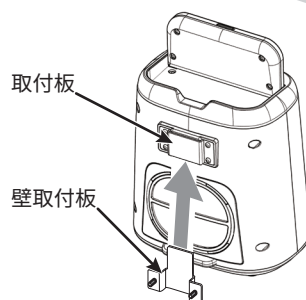


2. 本体を壁取付板に差し込む

壁に設置した壁取付板に、本体の取付板を上から差し込む。奥まで確実に差し込んでください。

高い位置に設置した場合、照明の反射により操作パネルが確認しにくい場合があります。操作パネル角度を調整してください。

本製品は高圧放電によりオゾンが発生させます。設置場所によりラジオなどに雑音が入る場合があります。その場合は雑音が入らない場所へ移動してください。



- 傾斜のある場所、落下の危険がある場所には設置しないでください。
- 周辺に遮蔽物がある場所に設置しないでください。
- 放出されるオゾンガスが、直接人体や動植物に当たらない場所に設置してください。
- 雨や飛び水などが当たらない場所に設置してください。
- ACアダプタやコードにつまづく事がない位置に設置してください。
- 付属のACアダプタ以外は使用しないでください。
- ACアダプタは使用者が容易に取り外せる位置に設置してください。
- 吸気フィルターを壁面に密着させないでください。



使いかた

【基本操作】

1. ACアダプタを接続

左側面のACアダプタ差込口にACアダプタを接続します。通電されると3分間、電源灯が点滅し暖機運転します。

2. 「ON/OFF」ボタンで運転開始

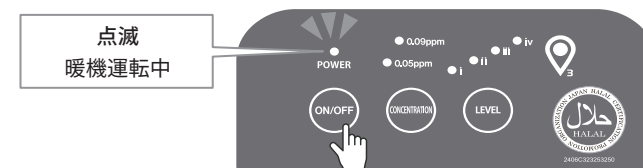
「ON/OFF」ボタンを押して電源をオンにする。

オゾン発生が開始し、送風ファンが作動します。電源がオンになると、運転灯と濃度設置表示とレベル表示のランプが点灯します。暖機運転中はオゾン発生はしません。

3. 「ON/OFF」ボタンで運転停止

「ON/OFF」ボタンを押して電源をオフにする。

オゾン発生が停止し、電源灯以外のランプが消灯します。送風ファンは電源がオフされてから10秒後に停止します。



▲「ON/OFF」ボタンを押して運転開始、停止

暖機運転

暖機運転とは、通電されてから3分間、本製品に搭載されているオゾン濃度センサーの校正を行うものです。オゾン濃度の測定を正しく行うための動作です。

暖機運転中に電源がオフの状態では、電源灯が緑色点滅します。

暖機終了後は緑色点灯になります。

暖機運転中に電源をオンされると、電源灯が緑色点滅し、運転灯は青色点滅します。この間、送風ファンは動作しますがオゾン発生はしません。

暖機運転終了後は、設定されたオゾン発生レベルでオゾン発生を開始します。



【濃度設定】

本製品にはオゾン濃度センサーが搭載されており、測定したオゾン濃度に応じてオゾン発生を制御します。濃度設定は、オゾン発生を停止させるオゾン濃度の設定です。

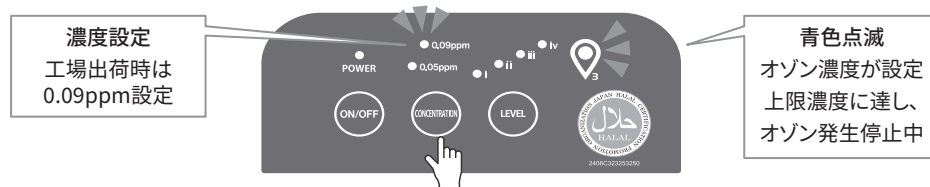
濃度設定の選択

「濃度」ボタンを押すごとに 0.05ppm と 0.09ppm のランプが点灯し設定が切り替わります。

- オゾン濃度が設定上限濃度に達すると、オゾン発生を停止します。
- オゾン濃度が再開濃度になると、オゾン発生を再開します。
- オゾン発生停止中も送風ファンは動作します。

濃度設定	設定上限濃度	再開濃度
0.05ppm	0.047ppm	0.040ppm
0.09ppm	0.090ppm	0.070ppm

▲オゾン停止 ▲オゾン発生



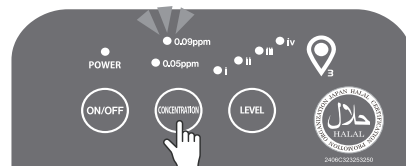
▲「濃度」ボタンを押して濃度設定を選択

【濃度設定の解除】

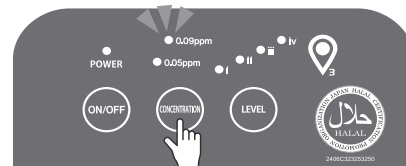
濃度設定を解除し、オゾン濃度によるオゾンの発生と停止の制御をしない設定です。

解除する（濃度制御をしない）

「濃度」ボタンを 8 秒以上長押しすると 0.05ppm と 0.09ppm のランプが両方点灯し、濃度設定が解除になります。
濃度設定解除中に AC アダプタが抜かれた場合は、再度 AC アダプタを接続し電源をオンしても解除状態は保持されません。



▲「濃度」ボタンを 8 秒以上長押し



▲「濃度」ボタンを押す

濃度設定を戻す（濃度制御をする）

濃度設定の解除中に、「濃度」ボタンを押す。
濃度設定の解除をする前の状態に戻り、0.05ppm と 0.09ppm の濃度制御される状態になります。



- 濃度設定解除中は、オゾン濃度が高濃度になる場合があります。

【パネルロック】

本製品は、誤作動防止のためパネルロック機能を搭載しています。小さいお子様がいる場合などに利用ください。

パネルロックのオン・オフ

「濃度」ボタンを約 5 秒長押しすると、パネルロックがオンになります。

約 5 秒長押しをすると操作パネルの全てのランプが点灯します。全てのランプが点灯中にボタンを離すと、パネルロックがオンになりますがランプの点灯は設定された状態に戻ります。



▲「濃度」ボタンを 3 秒～8 秒以上長押し

▲パネルロック中もランプ点灯は設定状態に戻る

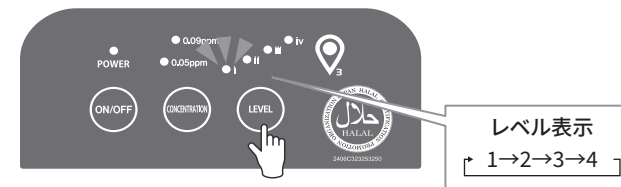
- パネルロック中は、全てのボタン操作が制限されます。パネルロック中にボタンを押すと、該当ランプが 1 回点滅しパネルロック中を示します。
- パネルロックのオフは、再度「濃度」ボタンを約 5 秒長押しすると解除状態に切り替わります。
- パネルロック中に AC アダプタが抜かれた場合は、再度 AC アダプタを接続し電源をオンしてもパネルロック状態は保持されません。

【レベル設定】

お部屋の広さや環境に応じて、オゾン発生量を 1～4 のレベルで設定できます。レベルは、オゾン発生時間と停止時間のサイクルタイムでオゾン発生量が変わります。

オゾン発生レベルの選択

「レベル」ボタンを押すごとに 1→2→3→4→1... とランプが点灯しレベルが切り替わります。



▶「レベル」ボタンを押してオゾン発生レベルを選択

オゾン発生サイクルタイム

レベル表示	発生時間	停止時間	発生量
1	4 秒	16 秒	10mg/h
2	8 秒	12 秒	20mg/h
3	6 秒	4 秒	30mg/h
4	連続運転		50mg/h

【近接センサー】

本製品の前面から約 24cm 以内に遮蔽物がある場合や人が近づいた場合、近接センサーが作動し安全のためオゾン発生が停止します。

- 近接センサーの作動によるオゾン発生停止中は、運転灯のランプが緑色点灯になります。
- オゾン発生停止中も送風ファンは動作します。
- 遮蔽物が取り除かれると自動的にオゾン発生が再開します。



【運転灯】

本製品の運転状態を、運転灯のランプの色と動作で示します。



ランプ状態	制御部	オゾン発生	参照ページ
青色点灯	通常運転	発生中	—
青色点滅	濃度設定	停止中	11 ページ
緑色点灯	近接センサー	停止中	13 ページ
黄色点灯	お手入れ案内	発生中	17 ページ
赤色点灯	オゾン濃度センサー	停止中	—

※赤点灯はエラー表示です。使用を中止し、お買い求めの販売店へご連絡ください。

お手入れ

本製品の除菌・消臭効果を十分に発揮するために定期的なお手入れが必要です。

ほこりや汚れが付着したまま運転を続けると故障の原因となります。手順に従い点検・お手入れを行ってください。

お手入れの際は電源をオフにし、AC アダプタを抜く

「ON/OFF」ボタンを押し、電源をオフにします。AC アダプタを抜いてください。AC アダプタを抜く際は、必ず電源をオフにしてください。

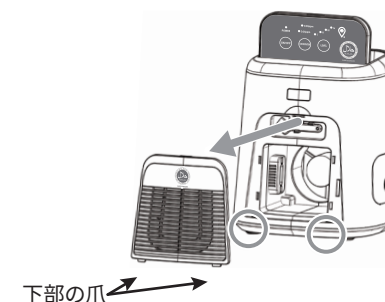


▲「ON/OFF」ボタンを押す

【吹出口と吸気フィルター】

1. 吹出口のお手入れ

前面の吹出口上部に指をかけて取り外します。付着したほこりは掃除機で吸引してください。掃除機では除去できないほこりや汚れがある場合は水洗いをしてください。水洗い後はしっかり水分を拭き取り完全に乾燥させてください。取付ける際は、吹出口下部の爪を機器に差し込んでから上部を閉めてください。



2. 吸気フィルターのお手入れ

背面の吸気フィルターにマイナスドライバーなどの工具を使用し取り外します。付着したほこりは掃除機で吸引してください。掃除機では除去できないほこりや汚れがある場合は水洗いをしてください。水洗い後はしっかり水分を拭き取り完全に乾燥させてください。取付ける際は、下部の爪を機器に差し込んでから上部を閉めてください。



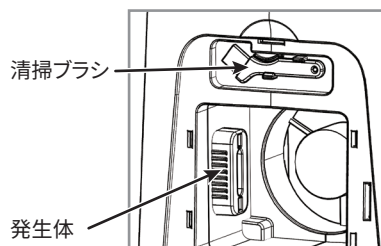
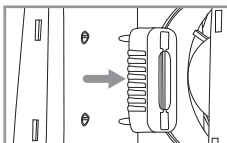
- 吹出口と吸気フィルターを取り外した状態で運転しないでください。

【発生体】

放電することによりオゾンが発生させます。定期的なお手入れを行ってください。
発生部の放電電極は一部ガラスを使用しています。取り扱いの際はご注意ください。

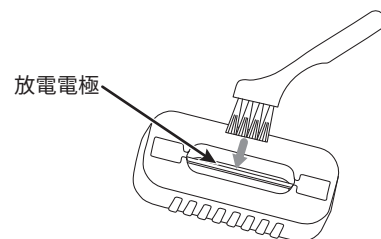
1. 発生体を取り外す

吹出口のお手入れの手順で吹出口を外し、発生体を指でつまみ、まっすぐ引き抜いてください。



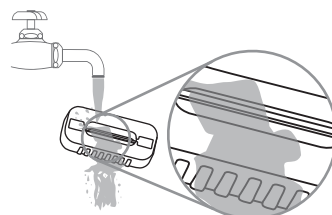
2. 清掃ブラシで清掃

清掃ブラシで発生体の表面を軽く擦り、付着物を除去してください。放電電極はガラスですので、取り扱いに注意してください。



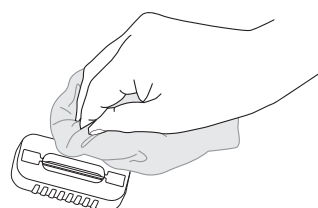
3. 流水洗浄

清掃ブラシで汚れや付着物が十分に除去できない場合は流水で清掃してください。
流水下で放電電極の汚れを清掃ブラシで軽く撫でるように洗浄してください。



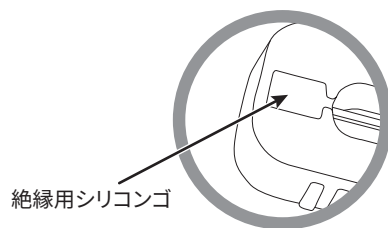
4. 完全に乾燥させる

洗浄後は乾いた柔らかい布などでよく水分を拭き取り、完全に乾燥させてください。
乾燥後に元の位置に奥まで確実に取付けてください。



発生体の特性

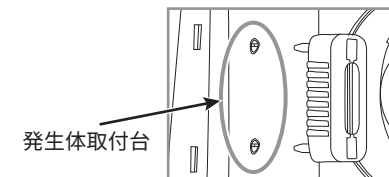
絶縁用シリコンゴムや発生体は時間が経つとくすみや変色することがあります。これは材質の特性によるもので異常な状態ではありません。
清掃や洗浄で除去はできませんが、性能に影響はありません。安心してご使用ください。



【発生体取付台周辺】

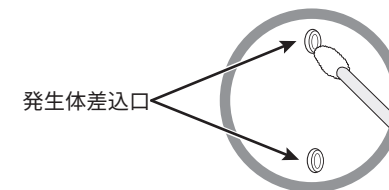
1. 発生体取付台のお手入れ

吹出口と発生体を取り外し、発生体を取り付けられていた取付台を清掃します。
柔らかい布で発生体取付台の全体のほこりや汚れを拭き取ってください。



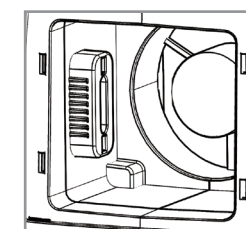
2. 発生体差込口のお手入れ

綿棒で発生体差込口のほこりや汚れを除去してください。



3. 周辺全体のお手入れ

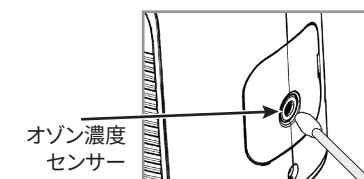
ファンや吸気と吹出の通り道になる部分は特にほこりや汚れが蓄積しやすいため、柔らかい布で、ほこりや汚れを拭き取ってください。



【オゾン濃度センサー】

1. オゾン濃度センサーのお手入れ

オゾン濃度センサーのメッシュ部分を清掃します。綿棒でほこりや汚れを除去してください。
清掃の際、水やアルコールなどは使用しないでください。
ほこりや汚れが付着しているとオゾン濃度の測定が正しく行えません。



- 発生体に白い付着物が発生する場合があります。清掃し除去してください。
- 清掃で発生する浮遊物などは直接肌に触れないでください。
- 清掃で発生する浮遊物などは吸引しないようご注意ください。
- 発生体と発生体取付台は、完全に乾燥させてから取付けてください。
- 乾燥が不十分の場合、通電した際に漏電や故障の原因となります。
- 発生体の放電電極に強い力をくわえると破損や故障の原因となります。
- 発生体差込口にほこりなどが詰まった場合、除去してから発生体を取り付けてください。

運転灯の黄色点灯

通電時間が 1000 時間を超えると、点検・お手入れの時期を案内します。
運転灯のランプが黄色点灯した場合、下記の表をご確認のうえお手入れを行ってください。
お手入れ終了後、「レベル」ボタンを長押しすると黄色点灯のランプが消灯します。



点検箇所	頻度	お手入れ方法	参照ページ
発生体	約 1 ヶ月	「発生体の清掃」の手順に従い清掃してください。	15 ページ
発生体取付台	約 1 ヶ月	付着したほこりや汚れを柔らかい布や綿棒で清掃してください。	16 ページ
オゾン濃度センサー	こまめに	付着したほこりや汚れを、柔らかい布や綿棒で除去してください。	16 ページ
送風ファン	こまめに	付着したほこりや汚れを乾拭きするか、柔らかい布に中性洗剤を少し入れた水を含ませ、硬く絞り拭いてください。	——
吹出口 吸気フィルター	こまめに	機器から取り外し、付着したほこりや汚れを掃除機で吸引するか水洗いで除去してください。	14 ページ
近接センサー	こまめに	付着したほこりや汚れを、柔らかい布や綿棒で除去してください。	——
外部の汚れ	こまめに	付着したほこりや汚れを、柔らかい布に中性洗剤を少し入れた水を含ませ、硬く絞り拭いてください。	——

- 点検・お手入れを行う際は、必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 設置・使用環境によって点検・お手入れ時期は大きく変わる場合があります。

故障かな？と思ったときは

Q1 電源が入らない

AC アダプタが抜けていませんか？

AC アダプタを差込口とコンセントに確実に差し込んでください。

「ON/OFF」ボタンが反応していない可能性があります。

ボタンに汚れが付着していないか確認し、硬く絞った布巾などで汚れをふき取ってください。

Q2 ボタンが反応しない

水分や汚れが付着していませんか？

かたく絞った湿らせた布でボタン部分を清拭してください。

パネルロックされていませんか？

「濃度」ボタンを 3 秒～8 秒の間で長押しでパネルロックを解除してください。

Q3 発生体の音が大きくなった

発生体の発光は確認できますか？

発生体の破損により、オゾン発生音が大きくなる場合があります。発光が確認できない場合、販売店またはお問い合わせ先までご相談ください。

Q4 送風ファンの異音をする、音大きい

送風ファンにゴミが付着したり、送風ファンの羽に異物が接触している可能性があります。

付着したほこりや汚れを乾拭きするか、柔らかい布に中性洗剤を少し入れた水を含ませ、硬く絞り拭いてください。

Q5 風量が弱い

汚れやほこり等の付着によって吸排気性能が低下している可能性があります。

吸気フィルター、吹出口、送風ファンの清掃を行ってください。

Q6 近接センサーの作動が解除されない

近接センサーに汚れが付着していませんか？

かたく絞った布などでゴミや汚れを取り除いてください。

近接センサー前方に反射物はありませんか？

前方 24cm 以上離れている場合でも、反射物がある場合近接センサーが作動する場合があります。反射物を取り除くか、設置位置を変更してください。

Q7 オゾン臭がしない

発生体や発生体取付部に、汚れやほこりが付着していませんか？

発生体の清掃を行ってください。参照：15 ページ

発生体の発光は確認できますか？

発光が確認できない場合、破損の可能性があります。販売店またはお問い合わせ先までご相談ください。

吸気フィルターや吹出口に汚れやほこりが付着していませんか？

各部の清掃を行ってください。

近接センサーが作動していませんか？

近接センサーの前方約 24cm 以内に遮蔽物があると、近接センサーが作動しオゾン発生を停止します。遮蔽物を取り除くか、設置位置を変更してください。

ご使用になる空間の広さや使用環境によってはオゾン濃度が低くなり、ニオイが感じられない場合があります。

各部の清掃を行ったうえで時間が経っても改善されない場合は、販売店またはお問い合わせ先までご相談ください。

Q8 オゾン臭が強くなった

体調や体質などによりオゾン臭が強く感じる場合があります。また、長期不在などでお部屋の有機物量により匂いが強く感じる場合があります。

濃度上限設定とレベル設定を低くし、オゾン発生量を下げてください。

製品仕様

製品名	ディアロット
型式	TM-2.0C
オゾン発生方式	誘電体バリア放電方式
オゾンガス発生量	50mg/h
オゾン発生レベル	レベル 1：10mg/h 4 秒発生、16 秒停止の繰り返し レベル 2：20mg/h 8 秒発生、12 秒停止の繰り返し レベル 3：30mg/h 6 秒発生、4 秒停止の繰り返し レベル 4：50mg/h 連続運転
オゾン濃度設定	0.05ppm、0.09ppm
オゾン濃度監視モニター	OGS-01
近接センサー仕様	有効距離 24cm±3cm（前面より反射のないこと）
消費電力	6.1W
定格入力	DC12V
風量	最大 50 m ³ /h
使用温度・湿度	5～35℃ 80%RH 以下（結露のないこと）
保存温度・湿度	-10～50℃ 20～90%RH 以下（結露のないこと）
対応量数	4 畳～50 畳
質量	約 1130 g
外形寸法（W×D×H）	パネル折りたたみ時：195×146×218（mm） パネル直立時：195×146×269（mm）
付属品	・専用 AC アダプタ ・壁取付板 ・木ネジ ×2 ・取扱説明書 ・保証書 ・清掃用ブラシ（本体装着済み）
その他	電気安全性：電安法別表第八（医療用物性生成器）準拠 電磁両立性：電安法別表第十（医療用物性生成器）準拠 作動モード：連続動作 水、粒子の有害な侵入に対する保護機能：なし

※オゾン発生量は、当社測定条件によります。使用環境によって変動します。
※本製品は、改良のため予告なく仕様変更する場合がありますので予めご了承ください。

アフターサービスと廃棄

【保証書】

本製品には保証書が付属されています。
保証書裏面の保証規程をご確認いただき、お買い上げ日と必要事項をご記入のうえ大切に保管してください。保証期間中に修理をされる場合は、必ず保証書をご提示ください。

【保証期間】

本製品の保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証期間中にこの取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、保証規程に則り対応をさせていただきます。また保証は、日本国内での使用時のみ有効です。

【廃棄】

本製品、付属品、梱包材の廃棄は地方自治体のルールに従ってください。
自治体のルールの内容については、地方自治体にお問い合わせください。